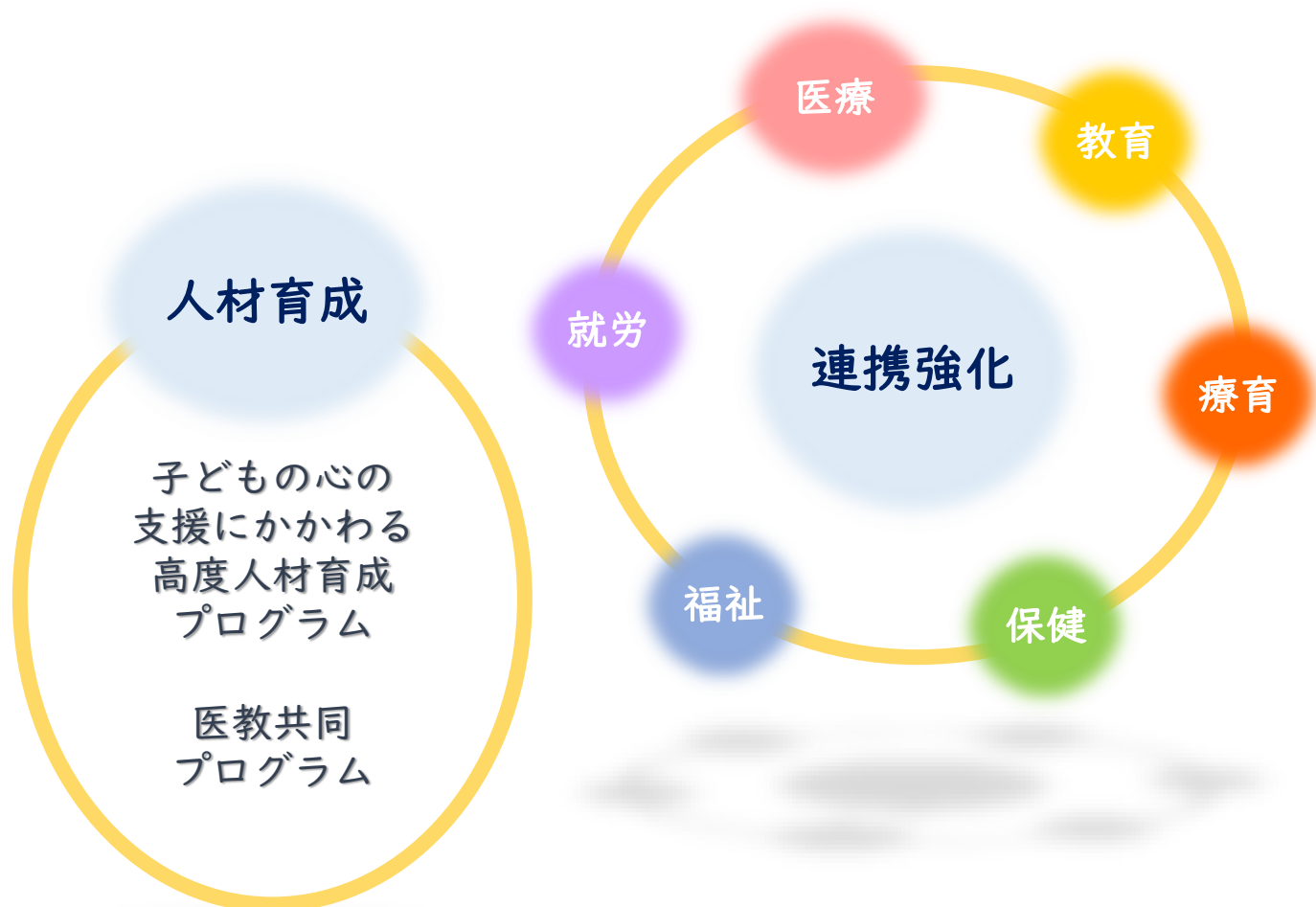


長崎大学

子どもの心の医療・教育センター

*Center for Child Mental Health Care and Education,
Nagasaki University*



目次

子どもの心の医療・教育センターについて

事業概要	2
------	---

ご挨拶	3
-----	---

事業内容

1. 子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム	4
-----------------------------	---

2. 医教共同プログラム	5
--------------	---

3. ネットワークの構築	6
--------------	---

4. 訪問支援派遣	6
-----------	---



2017.11.26 シンポジウム

事業概要

近年、子どもによる重大な事件、子どもの自殺、いじめ、不登校、虐待などの多くの解決すべき問題がクローズアップされています。このような現状の中、当センターは、長崎における子どもの心の支援に貢献することを目指して2016年に開設されました。現在下記の事業目標を掲げ、活動しております。

事業目標

① 地域の発達障害児等への医療・特別支援教育、双方の視点を踏まえた高度の支援スキルをもつ人材を育成すること

教育学部、医学部等の学生を対象とした共修の講義を実施し、将来発達障害児支援のリーダーとなる人材を育成します。

また、各地域で発達障害に関する講演を実施したり、インターネットを使った教師、保育士、療育関係者を対象としたプログラムを作成、実施したりします。

② 発達障害等によって困難を抱えている児童への支援をすること

児童の支援のために、保育園、幼稚園、学校に出向いての医療・心理的視点を強化したアウトリーチ支援を実施します。

③ 医療、教育、療育、保健、福祉、就労等を行う関係機関との連携を強化して子どもの心の支援のためのネットワークを構築すること

子どもの心の支援のためのネットワークを構築するために、地域のコーディネーター連絡協議会、行政との連携を図り、地域のネットワーク強化に協力していきます。

ご挨拶

長崎大学子どもの心の医療・教育センターは、2016年に開設されました。そこから、今まで多くの方に支えていただき、今日を迎えました。当センター開設の直接的な理由は、長崎県内で起こった子どもによる重大事件であり、そのような問題の発生を防ぐことでした。そこで、当センターでは、医学部、教育学部の垣根を取り除いた教育、教育・保育・支援現場の現職者への研修、教育・保育施設などへの訪問支援、地域のネットワーク作りへの協力の4つの取り組みを行ってきました。

これらの取り組みの中でeラーニングを用いて実施している高度人材育成プログラムは特にニーズが高く、現在年700名以上が受講しています。当初、長崎県内を対象として実施していたプログラムでしたが、現在では全国の方から受講をいただいています。

近年、発達障害のある子どもが多く気づかれるようになり、支援の必要性も高まっています。そのため、当センターは当初の目的を達成するだけでなく、年々大きくなる発達障害児への支援ニーズに対応することも大きな課題になっています。

私共のところにも多くのご相談が寄せられており、これから、当センターの取り組むべきことは山積していることを実感します。

当センターの取り組みを通して、困りを抱えている子ども、家族、支援している人のために貢献できたらと思っています。

皆様と共に子どもの心の支援を続けていく所存です。ご協力のほど、よろしくお願いします。

センター長 岩永 竜一郎



2024年4月に副センター長を拝命いたしました今村です。

発達のかたよりのある子どもやおとなの中には「だれもわかってくれない」、「どこにも居場所がない」という思いから、不安やうつが強くなったり、問題となる行動が起こってしまったりする人もいます。

このようなタイプの人たちが、自分の世界を大事にしつつ、世の中とある程度折り合いながら前進していくことができるように、支援・応援、伴走・併走ができればと考えています。

これからもよろしくお願いします。

副センター長 今村 明



1. 子どもの心の支援にかかわる 高度人材育成プログラム

発達障がい等による子どもの心の問題を支援する一策として、子どもにかかわる専門職の支援能力向上、キャリアアップを目指し、教師や保育士、療育関係者等に発達障がいや特別支援教育、医療的な支援に関する約1年間の教育プログラムを提供しています。

開設当初は長崎県内のみでしたが、2020年度より受講対象を全国に拡大し、教育・福祉・医療・行政・保護者・学生等、様々なお立場の方からご受講いただいております。

■講義方法

全てeラーニング（オンライン）で実施します。

インターネットを利用した学習形態で、受講サイトにアップロードされた講義動画を視聴して学習を進めていきます。就労されている方でも、ご都合に合わせて時間や場所にとらわれず受講することができます。

■プログラム内容

発達障がいや精神障がいのタイプ、それぞれの特性に関すること、様々な問題がある子どものアセスメント、それぞれの問題に対する支援方法、関係機関の機能や各機関との連携方法について、当センター教員や各領域で活躍している教師による講義（約60分間）及び各講義ごとのテストを実施します。

本プログラムは、長崎大学の規程に基づく履修証明プログラムです。各コースの全講義修了者には長崎大学から履修証明書が発行されます。

A：発達障がいの基礎・アセスメントコース

発達障がいや精神障がいの理解、各アセスメントやその結果の活用方法について学びます。初めての方はまずAコースを受講されることをお勧めいたします。

B：発達障がい児者への支援コース

Aコースで学んだことをもとに、学習面、対人関係面、情緒面、行動面、感覚・運動面など様々な問題への支援方法や、関係機関や保護者との連携について学びます。

C：発達障がいトピックコース

発達障がいに見られる併存症・随伴症状や、発達障がいに関する最近の研究に基づく知見、また、特色のある支援について学ぶことが出来ます。

Aコース・Bコース（合計80講義）を受講された方にお勧めのコースです。

※各コース、講義数40講義、年間受講料30,000円です。

※原則、受講申込先着順で受講可否を決定いたします。

本プログラムの受講者募集につきましては、当センターホームページ等にてお知らせしております。受講をご検討いただく場合、ご確認ください。

2. 医教共同プログラム

医学部・教育学部生等を対象とした、**医教共同プログラム（段階的共修科目群）**の開発・実施に取り組んでいます。

医教共同プログラムは、医学部・教育学部が共同して実務家教員や実務家による講義、実地での体験活動、関係機関と連携した講義等を行うことにより、学生の基礎的知識・技能の習得、評価能力の習得、特別支援教育能力の習得を目指すプログラムです。

プログラム修了が認められると発達障害児者支援科目単位が授与されます。

■担当教員

医学部、教育学部の教員

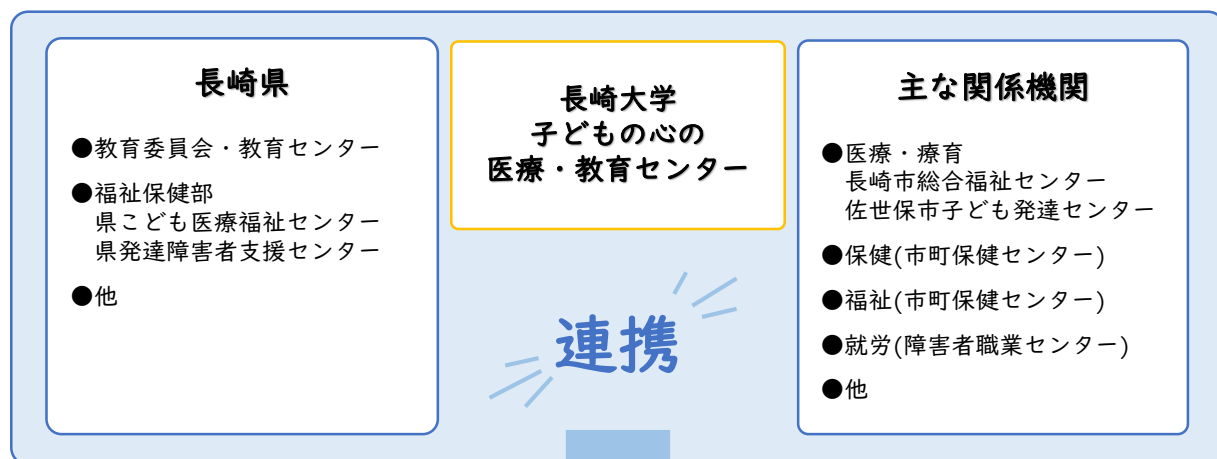


■ 授業内容一覧

オリエンテーション／発達障害支援の動向
インクルーシブ教育システムと特別支援教育の展開と制度 インクルーシブ教育システムを含めた特別支援教育に関する制度の理念や仕組みの理解
障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活（１） 病弱・知的障害の子どもを中心に 知的障害・病弱等の子どもの学習及び生活上の困難
障害のある幼児・児童・生徒の学習と生活（２） 肢体不自由・視覚・聴覚障害を中心に 視覚障害・聴覚障害・肢体不自由の子どもの学習及び生活上の困難
発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性（１） 自閉スペクトラム症を中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程（自閉スペクトラム症を中心に）
発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性（２） ADHDを中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程（ADHDを中心に）
発達障害のある幼児・児童・生徒の発達の特性（３） LD等を中心に 発達障害や軽度知的障害の子どもの発達と心理的特性、学習の過程（LD・発達性協調運動障害等を中心に）
発達障害のある幼児・児童・生徒の教育的支援（１） 通常学級・通級による指導における発達障害や軽度知的障害の子どもの支援の方法
発達障害のある幼児・児童・生徒の教育的支援（２） 特別支援学級と「自立活動」の教育課程上の位置づけの理解
特別支援教育の教育課程と個別の支援計画の作成・活用 特別支援教育の教育課程、個別の支援計画
障害のある子どもの地域支援（１） 保護者支援 学校における保護者支援、ペアレントトレーニングなど
障害のある子どもの地域支援（２） 学校と関係機関との連携 特別支援コーディネーター、関係機関や家庭との連携による支援体制の構築
教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援（１） 母国語や貧困、愛着障害の問題による子どもの生活上の困難や組織的対応の必要性
教育的ニーズのある多様な子どもの理解と支援（２） 精神疾患の子どもと保護者の支援、リハビリテーション
まとめ（学部横断グループ構成でのディスカッションとプレゼンテーション）

3. ネットワークの構築

子どもの心の医療・教育センターでは、医療、教育、療育、保健、福祉、就労等の連携を強化するために、地域のネットワーク構築を目指しています。



アウトリーチ・ネットワーク構築

長崎県子どもの心の
ネットワーク



4. 訪問支援派遣

長崎県内の学校・園・施設を対象とした訪問支援を実施しています。

訪問支援の費用は無料です。詳細は当センターホームページをご確認ください。





長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

住所 〒852-8520 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号
(医学部保健学科内2階)

HP <https://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>

Eメール kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

読み取ると
ホームページに
アクセスできます。



※スタッフが不在のことがありますので、メールでのお問い合わせにご協力ください。
折り返しご連絡差し上げます。